



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年6月26日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

イルカさん 歌い続けて50年

6月26日(日)＝1、3面

シンガー・ソングライターのイルカさん(71)＝写真＝は1974年に「あの頃のぼくは」でソロデビューしました。「なごり雪」は累計売り上げが80万枚を超え、世代を超えて歌い継がれています。今年は、ソロ前の活動を含み、歌い続けて50年という大きな節目を迎えました。

イルカさんの創作活動やコンサートなどを支えたのは、夫であり、プロ

デューサーの神部和夫さんでした。しかし、神部さんは30代後半に大病を患います。体の自由が利かなくなり、イルカさんは仕事と介護を両立してきました。神部さんが2007年に亡くなった後は「歌うことはできない」とまで落ち込みました。でも、神部さんが残したある言葉で歌い続けることができたのです。夫婦であり、仕事のよきパートナーだった2人の人生に迫ります。

✓ 復興拠点の避難指示解除

7月1日(金)＝4面

東京電力福島第1原発事故に伴う福島県内の帰還困難区域のうち、大熊町に設けられた特定復興再生拠点区域(復興拠点)の避難指示が6月30日に解除されます。帰還困難区域に人が住めるようになるのは葛尾村に続き2

例目。双葉町の復興拠点も近く解除される運びです。

3町村の取り組みから浮かぶのは、この地域の除染には他地域よりも費用も時間もかかる一方、帰還者は住民の一部にとどまりそうだ——という課題です。



帰還困難区域の一部が解除され、ゲートを開ける警備員＝福島県葛尾村で2022年6月12日撮影



論点

低投票率を問う

来月10日の投票に向けて参院選がスタートしました。参院選への有権者の関心は低く、1989年以降、投票率は60%を切っています。前回2019年は

7月1日(金)Ⅱオピニオン面

48・8%と過去2番目の低さで、若者の関心の低さが目立っています。昨年の衆院選に続き、今回も芸能人が投票を呼びかけるインターネット動画を

作る映像ディレクターの関根光才さんと、団塊の世代のプロデューサーの残間里江子さんに秘策を聞きました。

特集 ワイド

社会学研究者・ケイン樹里安さん追悼

6月27日(月)＝夕刊特集ワイド



悪性リンパ腫のため5月に亡くなった社会学研究者、ケイン樹里安さん(享年33)＝写真＝を悼む声があがっています。自らもハーフという「当事者目線」から日常に潜むレイシズム(人種差別)や社会問題についてわかりやすく解説し、

近年はメディア露出が増えるなど活躍の場を広げました。

若き社会学研究者が思い描いた「未来」とは何だったのか、共著のある研究者や教え子、交流のあった識者に取材しました。

竹橋の窓辺から

編集後記



毎日新聞は7月2日、スペシャルトークイベント「作家・小川糸さんと考える『読書感想文』の楽しみ方」を開催します。読書は好きでも、書くことが苦手な方は多いと思います。小川さんと一緒に楽しむヒントを探ってみませんか？
実践女子大学・渋谷キャンパスでの会場参加とオンライン視聴の2種類の参加方法があります。
QRコードから申し込めます。ぜひ、ご参加ください！
(松本春香)

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年